

# 桑葉の旗のもとに

青梅市立第三中学校  
学校だより  
平成30年9月

本校ホームページ [www.ome-tky.ed.jp/jhs/n3-jhs](http://www.ome-tky.ed.jp/jhs/n3-jhs)

三中スローガン「キラリ振る舞い三中生」＝人の心を思う行動

**戦争ほど残酷なものはない ⇔ 平和ほど尊いものはない！**

校長 川窪 公夫

今年も夏休みに青梅市・羽村市が合同で開催しているピースメッセンジャー事業が行われました。これは、中学生に戦争の悲惨さと平和の尊さを知ってもらい、将来に亘り平和の使者になってほしいとの願いが込められた事業です。三中からは2-6酒井弘矢くん・2-3伊藤詩さんの2名が代表として広島を訪問し、平和記念資料館を見学したり、被爆された方から直接お話を聞いたりして原爆の恐ろしさなどを学んできました。また、8月6日には平和式典にも参列し、平和を誓う場を肌で感じてくれました。私も全国大会（柔道・硬式テニス）の開催地が広島であったため実に35年ぶりに広島を訪れました。平和記念資料館で驚いたことは、多くの外国人が展示パネルを熱心に読んでいたことでした。また、35年前と違いタッチパネルの操作で原爆の被害・惨状が一目で分かるようになっていました。展示に多くの工夫がされていた反面、遺品や写真などの被爆資料の多くは私が訪れた35年前のままにその悲惨さを伝えていました。展示されている遺族の方の手記を読むと胸が痛くなり、涙なしには読めないものでした。柔道の大会会場が隣接していたこともあり、全国から集った柔道選手の姿も多く見られました。こうして自分のやりたいことに打ち込める環境や夢を追い求めることができる当たり前前の幸せが世界中に訪れてほしいと思いました。滞在2日目、投下された時間とほぼ同時刻に原爆ドームのすぐ傍にある爆心地（現在の島内科医院）から上空を見上げました。そこには、当時と同じであろう青空が広がっていました。私もピースメッセンジャーの二人に負けないよう、子どもたちの幸せのために戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくことを誓ってきました。



## ピースメッセンジャーの二人が9月3日の朝礼で全校生徒に報告してくれた内容をご紹介します

ピースメッセンジャーの活動をとおして

2年6組 酒井 弘矢

1945年8月6日の原爆投下から73年経った今年、僕は、当時の人の想いや戦争の実態を知り、自分のできることを見つけたいと思い、ピースメッセンジャーとして広島を訪れました。そして、三日間の現地での貴重な研修から自分なりの考えを持つことができました。今日は、中でも強く思った二つのことについて話したいと思います。一つは、命には『つながり』があるということです。広島では、被爆した新出さんという男性の方からお話を伺いました。そのエピソードの中で、「私が大火傷を負った時、母親がガーゼの取り換えと消毒を、父親が火傷にはお灸が良いということで、お灸を受けさせてくれた。そのおかげで、命を取りとめることができました。」というものがありません。僕はこれを聞いて一人の命というものは様々な『つながり』に支えられているのだと感じました。そして戦争は、表面に見えるものだけではなく、このような『つながり』までも奪ってしまうものなのだと分りました。もう一つは、今の生活が当たり前ではないということです。同じく新出さんのお話の中で、「今あなたたちが、自分で進路を決められ、自分の意思で生きられることは、とても『有り難い』ことなんだよ。」と仰っていたのが印象に残りました。『有り難い』という言葉は、普段からお礼を言う時に使われますが、その意味は、『有る』ことが『難しい』つまり、めったにないことをいう言葉だそうです。僕は、今の生活に感謝の気持ちは持っていましたが、今回の新出さんのお話で戦争当時の様子を知って、改めて今の生活は『有り難い』ものなのだと再認識しました。この先の未来、どのようなことが起こるかわかりません。しかし、過ちを繰り返さず、平和を受け継いでいかなければならないということは、間違いのないことです。そのためにも僕は、当時の人の想いや戦争の恐ろしさ、そして、僕自身が感じたことなどを周りの人へと伝え、一緒に考えていきたいと思っています。



私は、この夏、ピースメッセンジャーとして、とても貴重な経験ができました。事前研修では、戦争に関する様々な勉強をしました。その一つとして、東大和市にある旧日立航空機立川工場変電所に行きました。東京にもこのような戦争災害建築物が残されていることを知りました。そして、広島に行って原爆ドームを見学し、多くの慰霊碑に花を捧げました。平和記念資料館では、原爆投下当時の様子が分る写真や展示物が多く、恐ろしさと悲しみで体が震えました。そして、8月6日には平和記念式典にも参加しました。私が最も印象に残ったのは、被爆者の方のお話です。戦争当時の様子を丁寧に、そして熱心に話してくださいました。語り部の方の高齢化が進む中で直接、お話を聞いたことは、とても貴重な体験でした。私にとって、平和の大切さについて、より深く考えるきっかけになりました。ピースメッセンジャーとして、この活動に参加できたことにとても感謝しています。



### 発展途上国にワクチンを贈って、命の危機にある子どもたちを救おう！

生徒会恒例行事のキャッププロジェクト運動が7月9日～18日・8月29日～7月の二期間、延べ1



5日間に亘り行われました。生徒会本部役員が登校時刻にあたる7:50～8:10分まで、暑い中一生懸命に回収を呼びかけてくれました。ボトルキャップ860個で一本のワクチンが贈れるそうです。今年は、約29,000個を集めることができ、その結果、30人以上の子どもたちにワクチンを贈ることができます。私も生徒会の厚い心に感銘を受け、昨年のキャッププロジェクトが終わった次の日から毎日、自宅に出るボトルキャップを1・2個持って来ては事務室のダンボール箱に貯めていました。保護者・地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

### 〔三中生の活躍〕

**陸上競技部**〔第51回青梅市陸上競技選手権大会〕第1位 島田 夢蘭 女子中学3年100m 13秒28  
第1位 瀧嶋 里菜 女子中学3年走高跳 1m35 ・ 第2位 橋本 幸樹 男子中学3年400m 58秒47  
第2位 島田 夢蘭 女子中学3年走幅跳 4m57 ・ 第3位 倉持 怜風 女子中学3年200m 29秒45  
第3位 保坂 愛美 女子中学3年走高跳 1m30 ・ 第3位 望月 優衣 女子中学2年走高跳 1m25

〔第58回はちおうじT&Fトライアル〕第7位 橋本 幸樹 男子中学3年 110mH 17秒38

**男子バスケットボール部**〔平成30年度青梅市中学校総合球技大会〕準優勝

**女子バスケットボール部**〔平成30年度青梅市中学校総合球技大会〕第4位

**ソフトテニス部**〔平成30年度青梅市中学校総合球技大会〕男子団体I部 優勝・女子団体I部 優勝

男子団体の部 I部 優勝 Aチーム ・ II部トーナメント 優勝 Bチーム・第3位 Cチーム

女子団体の部 I部 優勝 Aチーム ・ II部トーナメント 優勝 Bチーム

2年男子個人の部 準優勝 市川 浩二郎・石川 叶人ペア ・ 第3位 関 拓磨・高山 冬羽ペア

第3位 市川 輝流・新谷 颯拓ペア

2年女子個人の部 第3位 右田 歩美・須崎 快美ペア ・ 第3位 鈴木 葵・右田 愛美ペア

1年女子個人の部 第3位 宮野 天音・横手 穂花ペア

〔平成30年度第8ブロック中学校ソフトテニス夏季大会〕

男子個人 第3位 市川 浩二郎・石川 叶人ペア ・ 第5位 大久保 柊・橋爪 真央

〔第23回ATSカップ西多摩地区中学校選抜ソフトテニス強化研修大会〕

男子の部学校対抗戦 優勝 Aチーム ・ 女子の部学校対抗戦 第3位 Bチーム

**卓球部**〔平成30年度青梅市中学校総合球技大会〕女子団体 第3位 Aチーム

1年男子シングルス 優勝 加藤 清孝 ・ 第5位 黒崎 優介 ・ 第5位 加藤 陽翔

1年女子シングルス 準優勝 横田 佳子 ・ 第3位 福島 実柚 ・ 第3位 伊藤 由惟

第5位 鈴木 小梅 ・ 第5位 中里 咲良 ・ 第5位 引地 紗也

**柔道**〔嘉納治五郎記念ウラジオストクカデ交流大会(ロシア派遣)〕55kg級代表 佐藤 尚貴

**フェンシング**〔第71回東京都民体育大会春季大会〕女子フルーレ 第3位 重藤 美紀

〔第4回全国中学生フェンシング選手権〕女子エペ 第2位 重藤 美紀

〔第73回国民体育大会関東ブロック大会フェンシング競技会〕少年女子 通過(本戦出場) 重藤 美紀

〔2018NAVI U17フルーレ国内トレーニングキャンプ強化選手〕重藤 美紀

